

イベント告知と募集 (会員・ボランティア・寄付協賛) ※掲載ご希望の方はお問合せください

時間 期間 場所 内容詳細 費用 定員 申し込み方法 プレイガイド 締め切り 分野 対象 金額 問い合わせ・連絡先

告知 ポッチャ体験会



3/1(土)・8(土)・15(土)・22(土) 10-11時 ①よいコミュニティセンター ②ポッチャは年齢・性別・障がいの有無にかかわらず、全ての障を越えて誰でも楽しめるスポーツです。 ③無料 ④またはチラシのQRコード ⑤総合型スポーツクラブから予約0258-86-6719

告知 第24回和太鼓 早春の陣



3/9(日)13時-14時30分 ①アオーレ長岡 市民交流ホールA ②長岡技術科学大学と長岡造形大学の和太鼓サークルが合同で開催する、年に一度の和太鼓演奏会。今年度のテーマは「春の鼓動」。100円 ③先着150席 ④「早春の陣」実行委員会 Email:sousjurno@n@gmail.com

告知 にじーず新潟 3月オープンデー



3/16(日)13-17時 ①ながおか市民協働センター協働ルーム ②10代から23歳までのLGBT(そうかもしれないと感じている人も含む)が集まって、参加者と話したり、ゲームやお絵描きをしたり、自由に過ごせる空間です。詳しくは「にじーず 新潟」で検索をお願いします。 ③無料 ④不要

告知 第27回 新潟県学生ウインドアンサンブル演奏会



3/22(土)13時30分-16時30分(予定) ①長岡リリックホールコンサートホール ②演奏曲「三つのジャポニズム」レ・ミゼラブル「ファンタジー」ファンタジー「スーパーマリオブラザーズ」他 ③無料 ④第27回新潟県学生ウインドアンサンブル会 080-9639-9721

告知 第3回 家づくりに役立つ建築講座



3/23(日)・30 (日) 13時30分-15時30分 ①アオーレ長岡 第1協働ルーム ②地震に強い家の基礎知識を模型を使って学びます。 ③1回あたり1,500円 ④各10名(先着順) ⑤NPO法人 建築・住居研究会-10分の1創立住宅模型を使った Email:hikokawa@gmail.com (広川)

告知 みんなで聴こう!春の音楽会



4/5(土)1部:開演11時30分-2部:開演14時- ①アオーレ長岡 市民交流ホールA ②音楽を育む参加型コンサート。動き回っても遊びながらも親子で楽しめる音楽会! ③500円(未就学児無料) ④各回先着100名 ※定員に達し次第締切 ⑤ひだまりハウス会 090-9643-2752(小森)

募集 大切にしたい東山自然観察林 市民有志を募集



毎月1回/第3土曜、又は日曜の9時-18時(夏8時)-2時間程度の作業 ②造成されて40年の東山自然観察林。林内の貴重な植物や生き物に恵まれた自然環境を将来に遺すため、保全活動に少し手を貸してください。作業用具は当会が用意、又は支給。 ③森林インストラクターと市民有志会 080-5401-9391

募集 つながり〇宅食



不登校の保護者(ピアサポーター)がお弁当をお届けします。悩みや不安なども気軽に相談ください。必要に応じて情報も提供。 ③1食300-500円(配達費込) ④不登校や行きしぶり、ひきこもりのお子さんがいる新潟市内にお住まいのご家庭 ⑤つながりサロン会 080-1301-7397(水沢)

募集 第4期(令和7~8年度) 地域学びコーディネーター講座



令和7~8年度の5~10月(各年12回) ②中央公民館 ③地域課題に対応した教育的事業を実践できる人材を育成します。地域に貢献したい方、地域活動の仲間をつくりたい方の応募をお待ちしています。 ④1,000円/年 ⑤60名程度 ⑥自己推薦により応募する場合3/24(月) ⑦中央公民館 0258-32-0437

センターからのお知らせ! 次年度の補助金情報あり! 事例から学ぶ補助金活用術

令和6年度に採択された事業について、活用方法やその効果などを事例ごとに分析します。また審査する側はどのような点を重視しているのか、担当者から生の声をお聞かせします。令和7年度に補助金の申請を考えている方必見です!

学びの場 知ろう!使おう!事例から学ぶ補助金活用術 実践編 Vol.3

3/25(火)19~20時 ①ながおか市民協働センター第1協働ルーム ②ライブ配信あり ③ながおか市民協働センター 0258-39-2020

発行 **カカ** **カカ** **カカ** ながおか市民協働センター

〒940-0062 長岡市大手通1-4-10シティールプラザアオーレ長岡 西棟3階  
TEL: 0258-39-2020 Mail: contact@nagaokakayodo.net

毎週月曜17時~18時「つながり」FMながおか(80.7MHz)で生放送している「ながおか市民協働センター」つながりラジオ」第5月曜日を除く、約10分間をお楽しみください

本誌で掲載の方々はコンテンツで動画を配信!

配布場所 長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅など公共施設に設置しています。



2025  
3  
May  
VOL147



活動ピックアップ! nagaoka 長岡地域

長岡 | みんなのSDGs SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 11 COMMUNITY RESILIENCE

たすけあい支える自分らしい暮らし



理事 伊丹 裕美さん NPO法人ながおかたすけあいネット BEライフ

高齢者や障がいのある方を対象に、訪問介護や介護保険外の自費サービスとして、外出時の付き添いや通院介助などの「たすけあい活動」を行っています。この活動は介護保険の枠にとらわれず、利用者が本当に必要とする支援を届けたいという思いから始まりました。社会の変化とともに利用者ニーズが多様化していますが、いくつになっても自分らしい暮らしが続けられるよう、柔軟な対応ができる体制を整え、これからも支援に努めていきます。

憩いの場・里山を後世に残したい



理事 布川 清八さん 理事 高橋 博文さん NPO法人関原里山・ぬかやま会

長岡市西部丘陵東地区一帯(ぬか山)の里山整備、植樹・育樹、自然観察会の開催などを行っています。会員は周辺の地域住民など130名と20の企業で構成され、観察会や森林の整備への参加を通して交流や親睦を育んでいます。関原小学校4年生には、総合学習の場を毎年提供し、四季の変化や命の多様性、自然のたくましさを伝えています。メンバーの大半が幼い頃から慣れ親しんだ、ぬか山の豊かな自然を後世まで残していきたいです。

自分のために、  
好きなことで恩返し

大島 健さん(43歳)  
(有)大島鉄工所 専務/  
ながおか農challeプロジェクト  
実行委員会実行委員長ほか



NAGAOKA PLAYERS

一方的な恩返し  
でつながる!  
おしまたけし

Oshima Takeshi

1981年長岡市緑野町生まれ。市内のイベント運営に実行委員として関わるほか、少年警察ボランティアなどの地域ボランティアもしている。

世

界えだまめ早食い選手権、

全日本丸太早切り選手権、ながおか花いっぱいフェアなど、市内でも大規模で開催されているイベントの実行委員長・副委員長を務めている大島さん。これだけ多く、そして大きなイベントに中心メンバーとして携わっていますが、どれも立上げメンバーではなく、運営を引き継いでいるとのこと。

今では想像が付きませんが、もともと人と話すことが苦手で、イベント事にも全く興味がなかった大島さん。地元を離れ、知り合いの少ない環境だった大学1年生の春、大島さんのことを気にかけて、外に連れ出してくれた先輩がいました。「いつも面倒見てもらっているから、ご馳走させてほしいといったんです。そしたら『恩返しするなら、代わりに後輩におなじようにしてやれ』



県内外、国外からの参加者も多い「世界えだまめ早食い選手権」。全国TVに廣々取材されるなど、注目度も上がっている。

といわれて」

この言葉を思い出し、15年前“断らない1年にしよう”と決めて、「実行委員に入らないか?」「地域の役員をしてもらえないか?」という誘いにすべて応えるようになり、その時引き受けたものが今でも続いていると話します。

しかし、誘いは断らないとしても、続けることや、やり切ることは難しいもの。大島さんは、自分が無理なく続けるために「自分の好きなことで、人のために動く」こと「一方的な恩返しをしているだけ、という意識でいる」という2つを大事にしています。「誘われたときに、自分が好きなことのなかでどう動けるかな、と考えます。苦手なことで市民活動は続かないけど、自分が好きだと思うことなら、そんなに無理がない。見返りを求めるためにやることだと、成果も求められそうで。だから、自分がやりたいからやっただけ、というスタンスですね。」

イベントが今後も長く続いてほしい、という思いがある一方で、「いつかなくなることが目標」と話すのが、参加者がおかずを持ち寄りご飯を食べる「シェア飯」です。大きな目的として

東京からリターンして最初に参加した市民活動だった「全日本丸太早切り選手権大会」。



は自分たちでアクションする、居場所をつくるきっかけづくりと捉えています。きっかけは探せばいくらでもあるということが地域の中で認識され、自分で掴めるようになる人が増えたとき、シェア飯は役割を終えられるのではないかと考えているそうです。

イベントを中心に動かすリーダーでもありながら若者からの「やってみたいこと」の相談にも親身になってサポートしている大島さん。自分が関わるイベントに参加して、「これやってみたい」「これならできそう」となにか持ち帰るものがあつたら嬉しいと話します。自分の好きを活かし、無理なくみんなのできることを続けていく。大島さんのつくる輪に入り、想いを受け取った人たちが、新たなモノ・コトを生み出していく循環にも期待しています。

地域の理解・協力を得るため、学びと交流の場を企画!

事業名	～つなごー手 特別企画～ちいきで子育て講演会
実施日	2022年12月17日
場所	川崎コミュニティセンター
団体名	つなごー手
補助額	44,000円(総事業費44,700円)
使途	講師謝礼、広告宣伝費など



横のつながりづくりも意識し、参加者全員が名札を着用。

内 容

- つなごー手が行う地域密着のフードドライブやフードパントリー活動を、より地域に浸透させる必要性を感じていました。
- まずは、町内会長や民生委員、農家組合、協賛事業者など活動に理解・協力を得たい地域関係者の皆さんとの交流や、「子どもの貧困」という課題への共通認識をつくるために講演会を企画しました。
- 当日は新潟県立大学の小池教授から「育つ喜び 育てる幸せ みんなで子育てするかわさきをめざして」という題で講演を開催。また、講演に引き続き座談会を設け、参加者全員からそれぞれの立場や活動を紹介いただき、感想を共有しました。
- 事業に合わせて、活動目的や想い、具体的な内容など団体の活動を見える化したA3サイズの活動紹介資料を作成。当日PRをし、フードパントリーを必要な人に届けるためのアイデアや、支援するにあたって必要な配慮などについて有意義な意見交換をすることができました。

長岡市未来を創る  
市民活動応援補助金

補助金  
事例紹介

協力してほしい人たちに向け、理解を深めようという取り組みが新鮮でした!



事務局



今月の伝授テーマは

新しい人が入りやすいコミュニティづくりのコツの巻

市民活動 | 虎の巻 |

〈虎の巻〉を  
動画で解説中



Q

「誰でも歓迎」と言っているのに、おなじみのメンバーが集まりがちです。どうすれば新しい人たちに参加してもらえるようになるでしょうか?

A

「誰でもウェルカム」と言いながら、特定の層ばかりが集まる…これは多くのコミュニティが直面する課題です。呼びかけているのに新しい人が来ないのは、「興味を持つ人が少ない」のではなく、「なんとなく入りづらい」「きっかけがつかめない」と思われているケースが多いです。

大切なのは、新しい人向けの「きっかけづくり」。ボランティアを募集しても人が集まらなかった経験がある団体は、ボランティア活動に関連した「勉強会」を開いたところ、「前から興味があって…」という人が集まったそうです。マーケティングでも、人を動かすには「いま

だけ・ここだけ・あなただけ」の提案が有効だと言われています。市民活動でも「初参加歓迎デー」や「活動説明会」「〇〇イベント」などの限定された機会があったほうが、心理的に踏み出しやすくなります。

また、既存メンバーに「友達を誘ってもらう」という視点も効果的。ビジネスでも紹介は高い成約率を誇る要素で、市民活動でも同じです。まずはメンバーに知人などの紹介を呼びかけましょう。その際に、どんなきっかけや仕掛けがあると人を誘いやすいか? をメンバー同士で話し合うと良いアイデアが生まれますよ。

新しい人に来てもらうためには、「いつでも歓迎している」というだけではなく、「今がちょうどいいよ」と伝える工夫が大切。小さな仕掛けを作ることで、場の雰囲気が変わり、新しい人がほどよく加わっていくはずですよ。

(ながおか市民協働センター 唐澤頼充)